

Tecfidera Guidebook

テクフィデラ®を服用される患者さんへ

監修：東京女子医科大学 神経内科 准教授 清水 優子 先生

緊急時の連絡先

医療機関名	
担当医師名	
電話番号	

製造販売元

バイオジェン・ジャパン株式会社
東京都中央区日本橋一丁目4番1号
www.biogen.co.jp

販売提携

エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10
http://www.eisai.co.jp

バイオジェン・パートナーコール

くすり相談室 **0120-560-086**
(フリーダイヤル) 午前9:00～午後5:00
(祝祭日、会社休日を除く月曜から金曜日まで)

はじめに

多発性硬化症(MS)は、本来自分をまもるための「体の防御機能」が誤って自分の脳や脊髄の神経を攻撃するために、さまざまな症状があらわれる病気です。

症状には個人差がありますが、歩きにくい、ふらつく、見えにくい、感覚が鈍くなる、痛みを伴う手足のけいれん、トイレの回数が増える、判断力が低下する、疲れやすいといったさまざまな症状があらわれます。これらの症状を早く抑えて、後遺症を残さないようにする、またはできるだけ軽くする必要があります。再発の回数を減らしたり、再発したときの症状を軽減したりすることで、病気の負荷を減らすことができます。

この冊子では、テクフィデラ®*の服用を開始される方が服用後に気を付けることについてきちんと理解できるように、テクフィデラ®の服用方法や副作用などを患者さん向けの言葉でまとめています。服用にあたってぜひこの冊子をお読みください。

わからないことや不安に思うことがありましたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

*:テクフィデラ®カプセル120mgまたはテクフィデラ®カプセル240mgをテクフィデラ®と省略して記載しています。

テクフィデラ®の作用

テクフィデラ®は、炎症を鎮める作用と神経細胞を守る作用があると考えられています。

テクフィデラ®を服用することで、臨床症状の悪化(再発)の頻度を減少させ、身体的障害の進行を遅らせる効果が期待できます。



テクフィデラ® 治療を始める前に

テクフィデラ®による治療を始める前に、
知っておいていただきたいことがあります。

- 過去にテクフィデラ®に含まれる成分でアレルギー反応を起こしたことがある人は服用できませんので、主治医に相談してください。
- テクフィデラ®の服用により、リンパ球(白血球の一種)の数が減少することがあります。服用を始める前と服用期間中は主治医が3ヵ月ごとに血液検査を行い、リンパ球数を測定します。連続してリンパ球数が低値であった場合には、主治医はテクフィデラ®の服用を中止・中断する場合があります。
- テクフィデラ®の服用により、腎臓や肝臓の働きに影響を与えることがあります。服用を始める前と服用期間中に主治医が腎機能検査および肝機能検査を行います。
- 妊娠中または妊娠している可能性のある人および授乳中の人は、服用する前に主治医・薬剤師に相談してください。

テクフィデラ®の服用方法

最初の1週間

120mgのカプセルを1回1カプセル、朝・夕食後に1日2回服用します。

2週目以降

240mgのカプセルを1回1カプセル、朝・夕食後に1日2回服用します。



テクフィデラ®の服用上の注意

テクフィデラ®服用の際、
カプセルを噛んだり砕いたり
しないでください。



飲みづらい場合

- 多めの水と一緒に服用してください。
- 100mL以上の水と一緒に服用し、少なくとも90秒は立ったままの姿勢を保つと、カプセルを胃まで流し込みやすくなるといわれています¹⁾。
- 服薬ゼリーやヨーグルトと一緒に飲むことも可能です。



1) Hey H. et al., Br Med J (Clin Res Ed). 285: 1717 (1982)

テクフィデラ®の副作用

テクフィデラ®の服用中に副作用があらわれることがあります。
副作用のあらわれ方や程度は、人によって異なります。気になる
症状があらわれたときは、主治医や薬剤師に相談しましょう。

頻度の高い副作用

- 顔・体の赤み(潮紅)、熱感・灼熱感
- かゆみ
- 下痢
- 悪心(吐き気)・嘔吐
- 腹痛

これらの症状があらわれたとき、1ヵ月程度の間、テクフィデラ®を1回120mg
1日2回に減量することで副作用を和らげることができる場合があります。
ご自身の判断で服用量を減らさず、
必ず主治医にご相談ください。

空腹時にテクフィデラ®を服用すると、副作用
が出やすくなります。
食後の服用を心がけましょう。

耐えられない症状があらわれた場合には、
すぐに主治医に連絡してください。



テクフィデラ[®]の副作用(つづき)

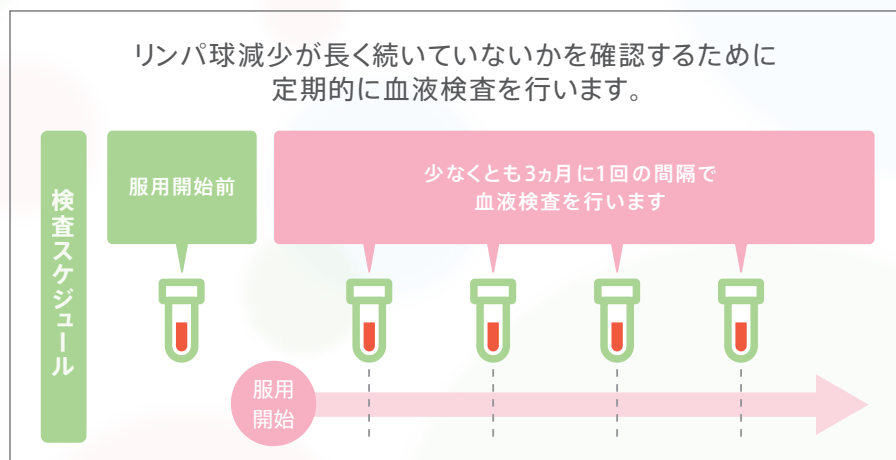
特に注意が必要な副作用

● リンパ球減少

テクフィデラ[®]の服用後、長期間にわたってリンパ球数が減少する場合があります。長期間にわたりリンパ球数が低値であった場合、進行性多巣性白質脳症(PML)と呼ばれる脳感染症などの感染のリスクが高くなる可能性があります。

● 進行性多巣性白質脳症(PML)

リンパ球数が少ない状態が長く続くと、PMLと呼ばれる感染症にかかるおそれが生じます。症状のあらわれ方はさまざま、数日から数週間にわたって**手足のまひ、物忘れ、考えがまとまらない、言葉が出にくい、見えにくい**といった変化があらわれます。このような変化を感じた場合には、**すぐに主治医に連絡**してください。



● 感染症

リンパ球数が少なくなると、感染症にかかりやすくなるおそれが生じます。感染症の症状が長く続く場合や、重い症状があらわれた場合には、**すぐに主治医に連絡**してください。

● アナフィラキシー(お薬に対する過敏反応)

テクフィデラ[®]に対するアナフィラキシー(お薬に対する過敏反応)がみられることがあります。なかでも、**顔または体の赤み(潮紅)と一緒に、顔面・唇・口・舌の腫れ、もしくは息がぜいぜいしたりヒューヒューと音がしたりする、息苦しさ、息切れ**といった症状があらわれた場合には**服用を中止し、すぐに主治医または近隣の医療機関を受診**してください。

妊娠・出産を希望する患者さん、 妊娠中・授乳中の患者さんへ

妊娠・出産を希望される患者さん、
妊娠中または授乳中の患者さんは、
テクフィデラ®の服用を始める前に、主治医・薬剤師にご相談ください。



多発性硬化症患者さんの サポート情報

多発性硬化症とテクフィデラ®について、ウェブサイトでも情報をご提供しています。

- **Tecfidera Support Web**
テクフィデラ®を服用される患者さんへ

https://tec_pat.ms-supportnavi.com/

テクフィデラ®を服用されている多発性硬化症患者さんとそのご家族に向けて情報をご提供しています。



- **多発性硬化症サポートナビ**

<https://www.ms-supportnavi.com/>

多発性硬化症患者さんに役立つ情報をご提供しています。

